

JCI TC101A 【微破壊試験を活用したコンクリート構造物の健全性診断手法
調査研究委員会】

第1回 主査・幹事会 議事録

議事録担当：堤

■日 時：2010年9月24日（金）14:00～15:30

■場 所：日本コンクリート工学協会 11階 第5会議室

■出席者：二羽委員長，安田副委員長，堤幹事長，岩波 WG3 主査，

横沢 WG1,3 委員委（オブザーバー）

（事務局）川上

以上6名（敬称略）

■資 料：1 第1回全体会議 議事録

2 第1回 WG1 議事録

3 第1回 WG2 議事録

4 第1回 WG3 議事録

5 各ワーキングの目来ねらい

6 WG1（耐久性に関する取り組みの推移）の活動状況

7 既存コンクリート構造物の性能評価指針(案)

■議 事：

1. 各WGの活動報告と今後の取り組み

資料1～4に基づいて各WGの活動報告がなされた。なお、WG1，2については、それぞれ、堤，安田副委員長から報告がなされた。報告内容については了承された今年度の取り組みについて、決定事項は以下のとおり。

- ・WG1：事業者別（鉄道，道路，港湾，電力，建物）のマニュアルを集めて，保全の考え方や課題点を抽出していく。特に建物についての調査が手薄になりがちなのでURの事例を中心に調査をすすめる。
- ・WG2：非／微破壊試験技術の現状と課題についてしっかり整理する。特に関連する研究委員会がいくつかあるので，関連を良く調査する。これを基に，本委員会活動のオリジナリティを考えていく。
- ・WG3：作業分担が明確になっているのでそれに従って整理を進める。「既存コンクリート構造物の性能評価指針作成委員会」が活動中なのでその動向をよく把握しておく。
- ・資料5，6に基づき各WGの繋がりについて横沢オブザーバーから以下の説明がなされた。

「WG1 はこれまでの保全研究成果，各施設管理者のマニュアルの整理分析を通じて，現行の健全性診断に関する課題点を抽出し，WG3 ではこれら課題が適切であったか，事例で検証する．WG2 では損傷評価法など技術的な面の検討を行う．これら全体を評価することで LCC 最小化を実現するための方策を提言する」．WG 間の繋がり，今後の方向性はこれらの資料をベースに検討していくこととした．

2. 次回全体委員会について

次回全体委員会は，各 WG の活動報告を主体に行い，その後進め方について議論することとする．各 WG の活動報告は質疑（最低 10 分を確保）を含め 30 分以内とする．

以 上